

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附 属 機 関 等 の 名 称	令和7(2025)年度第2回みよし市特別職報酬等審議会		
開 催 日 時	令和7(2025)年11月27日(木) 午後2時から午後3時20分まで		
開 催 場 所	みよし市役所3階 301会議室		
出 席 者	会長 伊藤 久司 事務局 城総務部長 職務代理 富樫 佐智子 近藤総務部次長 委員 山内 勤也 杉浦人事課長 委員 岩田 信男 鎌木議事課副主幹 委員 坂田 浩己(欠席) 久野人事課副主幹 委員 柳川 傑 委員 原田 広美 委員 猪島 智美		
次回開催予定期日	—		
問合せ先	みよし市役所 総務部人事課 久野 (直通電話: 0561-32-8351)		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	
審議経過	議員報酬の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額に関する審議を行い、答申の方針を定めた。		
傍聴者	なし		

討議内容	
開会	
典礼	<p>定刻になりましたので始めさせていただきます。</p> <p>お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>只今より 第2回みよし市特別職報酬審議会を開催いたします。</p> <p>今回につきましても、みよし市付属機関の設置及び運営に関する要綱第6条に基づきまして、この会議を公開とさせていただきます。会議録につきましても、後日発言者と委員名を記載する形で公開させていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>始めに会長から御挨拶をお願いいたします。伊藤会長よろしくお願ひいたします。</p>
伊藤会長	<p>皆さんこんにちは。第1回の審議会におきましては、皆さんのお貴重な意見をいただきまして、ありがとうございました。その際の挨拶にも申しましたが、本審議会は、市長を始めとする特別職の報酬について、公平・適正な水準を検討していきます。それを市長に答申として申し上げるといった重要な役割を持った審議会になります。皆さんの忌憚のない御意見を頂ければと思います。その際に、市民としての感覚をベースにした御意見というのも非常に重要だと思っております。また、一方で、昨今の社会経済状況を表したデータですか、他市町村の状況等、客観的なデータに基づいた発言や内容というのも、非常に重要な要素だと思います。この審議会で出される結論が多くの方々にとって説得性のある結論になればと思いますので、御協力のほどよろしくお願ひいたします。</p>
典礼	ありがとうございました。議事進行に関しましては、会長にお願いいたします。
伊藤会長	それでは、提出頂きました追加資料の説明を事務局にお願いしたいと思います。
事務局	(資料についての説明)
伊藤会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>前回、最後に据置きという御意見が多かったように思いますが、もし引上げをするのであれば、このような形になりますよというシミュレーションを作っていただきました。その際のシミュレーションの根拠となるのが、追加資料で御説明頂きましたように、指定職俸給表というものに基づいて、他の市町村が改定していく傾向が色濃いということで、その改訂率が令和5年から令和6年のところが1.1%、令和6年から令和7年のところが2.8%という数字が出ているということで、本市は2年に一度の改定ですので、他の市町村で見られるように報酬の審議会2年に1回開催している市町村は、2年分を足し合わせて、それを引上げするというパターンもあるということで、1.1%と2.8%を足した3.9%のシミュレーションをして頂きました。その結果が、資料2ページのA3の資料になっていると思います。それを見ていただいて、もしくは前回の資料をもう一度お目通しいただいて、気付かれた点、御意見等ありましたら、よろしくお願ひいたします。</p> <p>補足といたしまして、このシミュレーションは今年度の報酬を検討されている市町村の今年度の改定は反映されていないので、他の市町村が引き上げられた場合には、このシミュレーションよりも順位的には下がることになります。それを踏まえてお考えいただければと思います。</p> <p>この順位は、あくまで今年度改定を審議されている市町村が引き上げをしなかった場合で、本市が引上げをした場合の順位となるのかなと思います。</p> <p>御意見はありますか。</p>
岩田委員	<p>自分も詳しいことはよく分かりませんが、日本は、30年間も給与が上がらなかつた時代もありまして、今物価が上がって給与が徐々に上がりつつありますので、良い傾向にはあると思います。ヨーロッパかアメリカへ行けばラーメン1杯3,000円が普通です。それくらいの給与を取っているということですね。日本もこれから徐々に上がっていくと思っても、なぜ30年間日本は給与が上がらなくて、香港とかシン</p>

	ガボール等に負け続けているのか分かりませんが、少なくとも人事院勧告というは、国の人事院が全国の一般企業の給与水準を調べて、その水準よりも高くなれば勧告しないですよね。それよりも低くして国家公務員の給与を決めております。だいたい地方公務員は、国の人事院勧告に倣って、給与は今まで上げてきたと思います。前回2年前に、少なくとも全一般企業より低い人事院勧告ぐらいは公務員も上げないと、いつまでも日本の国の給与は世界水準には達しない。私は、なるべく最低限の人事院勧告ぐらいの水準は上げた方が良いと思います。円が安いのは日本が相対的に衰えてきているので、79円の円高の時代を知っていますけども、円が安いから物価も高くなる。国力が衰えていますので、一般の企業の方も頑張っていただかないと悪いと思いますが、また公務員も合理化をして生産性が低いから給与が上がらないということがあるかもしれません。自分の意見としては、指定職ぐらいは上げても良いのではないかと思います。
伊藤会長	ありがとうございます。 他の方はいかがでしょうか。
柳川委員	前回も発言したように、市の財政力指数とか、そういうところから、比較すれば今のみよしの特別職の報酬というのは決して高いというわけではないので、上げていくのは妥当ではないかと思います。ただし、国会議員も歳費5万円上げるか上げないかという話が出ていますので、その辺のところを踏まえて、特別職の報酬の引上げに関してこの審議会で答申して、議会で議決されるといった手順ですので、審議会で答申しても議会で否決されてきた時代もあったので、その辺のところは議会が判断するのですが、審議会としては、引上げの方向で良いのかなと思います。データに基づけば良いのかなと思います。後は、市民感情とか入ってくると思いますが、そういうところはバランスを取っていただければと思います。
伊藤会長	ありがとうございます。 他の方はいかがでしょうか。
原田委員	私自身、現状働いています。今回のボーナスは前よりも少なくなったとか、賃上げ率が悪い訳ですが、そうなると働いている身としては、モチベーションがとても下がってしまいます。先回は、私も据置きで良いではないかと意見を出させていただきましたが、自分も働いている身として考えれば、一般的に賃金が上がればその分モチベーションが上がり、私たちにもその分還元が来るのではないかということを思いまして、今回、人事院勧告の上げ幅ぐらいは上げても良いのではと思っています。
伊藤会長	ありがとうございます。 他の方はいかがでしょうか。
富樫職務代理	私は、市民感情的な方向から意見を述べさせていただきます。 議員の人数は20人とたくさん見えます。その中で、議員の仕事を見える化して欲しいと言つたんですけど、魅力ある議員さんが育っていくようにしていけば、人のように政治参加して、みよしを良くしようと考える人が出てくると思います。そのように議員さんも考えて仕事をして頂きたいな思います。仕事をされている分報酬を上げていくのは、市長さん、教育長さんの仕事を身近で見ていると、とても大変な仕事をやっているので、こここのところ据置きだったから、そちらの方は上げても良いのではないかという考え方でここに望みました。 議員さんに関しては、定数が20人ということで、同じ様な市町村のところで見ると20人のところが半々ぐらいで、18人と定数が少ないところもあります。議員さん自身がやりがいのある仕事として見えているのか。見える化するのは大変難しい事だと思いますが、それを示せるような態勢を取りながら、次世代の若者に向けて議員という仕事は素晴らしい、やりがいのある仕事だというアピールしてほしい。あと数字の面では皆さんと同じように、絶対据置きが良いとは思ってませんので、人事院勧告通りここずっと上げていないので上げるので良い。議員としての自覚を持って仕事をやって欲しい。やってくださいれば、どんどん上げていっても市民も納得して、上げることには賛成されるとは思います。多くの市民は、議員さんの仕事に不満まではな

	いのですが、態度が悪いとか、本当に肩書きに乗って市民を下に見ているそういうところがある場合があるので、そこら辺は慎んでやって頂きたいと思います。
伊藤会長	<p>今おっしゃっていただいたのは、前回にも何人かの方がおっしゃっていた意見に近いかなと思います。ただ、前回も言ったかもしれません、今おっしゃっていただいた議員の姿勢というものは、この審議会の答申としては入れるのは多分難しいと思われます。この資料にもありますけども、住民一人当たりというところで割り算した時に、議員の数が多ければ、その支出は大きいという数字が当然出てきますので、それに関連して議員定数のことについて、直接ではないんですけども、全体の経費を考えた場合には、そこも喚起していきますよということは言えると思います。</p> <p>今の御意見だと議員定数が多少多いのではないかという御意見ですね。</p>
富樫職務代理	はい、少数精銳でいてほしいと思います。
柳川委員	<p>議員定数は、人口規模から考えられているとは思うんですけど、今みよしは20人ですが、今の人ロ6万2千人ですが、今より人口少ない時に26人という時があったんです。それがだんだん削減てきて今20人でしばらく来ています。</p> <p>市長も改選があって、無投票当選していますので、大部分の方は今の中長の政策を支持されたということですから、あと副市長や教育長は市長が指名して議会で承認していただくという流れになっていますので、議員の定数については、また別のところでお話してもらえばと思います。</p>
富樫職務代理	立候補者が定数に満たない場合、これからも人口が下がりつつあるところで定数の事もやはり附帯で入れておいていただきたい。あれは、議員さんの方から減らすと言わないといけないらしいですね。
伊藤会長	おっしゃることはよくわかります。ただ、これも前回申し上げたと思いますが、議員をやられる方というのは、志を持って立候補していただいて 皆さんから認められれば当選という話になります。その一方で、現実的な話として、議員としての報酬のところである程度それが一つの要素となります。皆さんに色々な職種を選ぶときに、一つの検討項目として報酬を考えられるのと一緒に、それが他の市町村との比較で出てきます。そこが低いと負のスパイラルになっていくのも望むものではないとは思います。少なくとも魅力がものすごくある報酬ではなくてもかまわないと思いますけど、ある市のレベルに戻したその水準までは議員の報酬も一定の水準にしてあげるって言うのは一つの考え方かなと思います。
猪島委員	私も市民感情とすれば、数字的にはみよしも上げるべきとは思います。三役に関しては、この前も言いましたように上げることは良いと思います。でも何となく市民感情の点から言いますと議員さんは少しづつ上がっているので、だから同じ税収を使うなら市民としてはそこを上げるよりも、三役で使ってほしい。
伊藤会長	山内委員いかがでしようか。
山内委員	地元に議員が2人いまして、私が聞いている議員は3人いるんですが、3人のうち1人が上げてくれと言われました。国会議員は何をしているかは分かりませんが、市議会議員は我々に御用聞きに来てくれますよね。次の議会で質問しますが何か問題あれば言ってくださいみたいな話はあるので、結構よくやってくれています。上げるということであれば、反対はしません。
伊藤会長	人事院勧告に従ってということでしょうか。
山内委員	本当は据置きで良いとは思っているんですが。
伊藤会長	議員報酬は、何年か据え置きというのはありましたか。1回目の資料にありましたか。
人事課長	1回目の資料にあります。1回目のA3の資料で1ページ目ですね、「①みよし市特別職と給与報酬等の改定」とある中で、そこで網掛けになっているところが実際に上がった年です。直近では令和5年度の審議会によって令和6年度の報酬で議員は上がっています。
伊藤会長	第1回目の復習になってしまいますが、前回の資料の1ページ目を見ていただきま

	すと市長、副市長、教育長については平成23年度以降上がっていないということでしょうか。
人事課長	はい、そうですね、上がっていません。
伊藤会長	議員、副議長、議員は、昨年度アップしていますね。
人事課長	三役の方は平成24年の時に下がっています。そこからずっと変わっています。
伊藤会長	ここまでが今までの経緯だと思います。
岩田委員	<p>議員さんが年俸出てますよね、現在の議長さんですと現行で850万円くらい。議員さんで言うと660万円くらい。議員さんは、1年中同じ仕事を毎日やっているわけではないですが、議会のときは出席して、あとは地域の活動となると思います。一般職みたいに365日働いているわけではないので、一概に比較はできません。三好町の時代は、議員さんの給料がものすごく安かった。こんな安い給料では議員をやつていられないという時代がありました。そんな時代があって徐々に今は上がってまいりまして、他の市町に比べて遜色ないような数字になってきたなと思っています。これもその人の考え方ですけども、一般の市の職員の係長クラスの給与で1年間議員をやれと言っているのです。議員になる立場からすると自分は係長クラスかと思うわけですよ。それでも、志が高くて、給料なんて関係なくて地域のためにやるんだという人は、たくさんいると思うのですが、必ずしも給料安くてもやりますよという議員ばかりではないので、ある程度、議員さんの給料を上げてやらないと成り手がなくなってしまう。前回は選挙があったのですが、前々回は無投票で、議員が無投票の選挙なんて情けないと思うんです。前回は選挙があって5人ぐらい落ちたのかな。それは市民としては選べるというのは良い事ですが、給料を上げておかないと手を上げる議員さんがいなくなってしまうのでは。</p> <p>三役がこれだけ上がっていないのも初めて認識しましたが、これはひどいなと思います。議員さんも2年分だと3.9%ですかね。令和6年分はカットして2.8ぐらい、三役さんは3.9%ぐらい上げてはどうかと個人的には思います。</p>
伊藤会長	<p>分かりました、ありがとうございます。</p> <p>今おっしゃっていただいたのは議員の一つの魅力として報酬という部分はあるのかなと私も思います。</p> <p>全体的な御意見としてはよろしいでしょうか。</p> <p>この審議会としては、ある方向性を出さないといけないということですので、2つに分けて最終的には御判断頂きたいと思います。</p> <p>まず、市長、副市長、教育長について、どの方向性にするか決めさせていただきたいと思います。シミュレーション的には先ほど言いましたように1.1%、2.8%、3.9%になっています。他の市町村があくまでも上がらない前提の資料しかありませんが、20年以上前から上がっていないという前提を踏まえてどうするかというところを岩田委員からは、2年分合わせた3.9%はどうですかという一つの御意見が出ました。年次的に言うと、令和6年から令和7年を採用するというのは、説明しやすいかなと思うんですが、一昨年の令和5年から令和6年の1.1%をこの時期の審議会で使うとなると、あまり説得性や合理性がないような感じがします。もし引き上げるのであれば、2.8%か2年分の3.9%というのが多くの方々に説明するときの根拠としては、説明しやすいかなと私は思います。</p>
柳川委員	追加資料で去年の答申内容ですが、春日井と愛西が2.8%、後は1.1%なんですが、この時期でみよし市の財政力から考えていけば、たとえば2.8%上げたとしても、順位でいくと18番くらい。財政力からみよしを見ると県下2番ですが、決して高い方ではないなと。
伊藤会長	3.9%ではなくて。
柳川委員	はい、2.8%ですね。
伊藤会長	傾向としてどうでしょうか。
人事課長	みよし市はどうしても隔年なので、令和6年度に追加資料に載っているところは毎

	年やっているところが多いのですが、その時1. 1%ということは今度も2. 8%上げてくるから、みよしが遅れないようにするという考えになりますと3. 9%ということになってくるのかなと思います。
柳川委員	市長、副市長、教育長を仮に3. 9%とすると、議員の方も足並みを揃えないといけないかもしない。
伊藤会長	審議会の説明責任というところで言いますと、2年に1回の開催なので説明の仕方としてはあるかなと思います。これは確かに議会でどのようにされるか分かりませんが、2つの率に分けて別々に答申していくこともありますか。
人事課長	あります。
伊藤会長	今のところは別々に考えさせていただこうとで思っています。 まずは、市長、副市長、教育長について、今までの現状と今回議論していただいたことから現状を含めてどう選択するかを決めさせていただければ良いかなと思います。どうでしょうか。
富樫職務代理	長く上がっていないので、3. 9%上げたら良いのではと私は思います。
伊藤会長	山内委員いかがでしょうか。
山内委員	私は、三役に関しては据置きという意見です。
伊藤会長	柳川委員はいかがでしょうか。
柳川委員	2. 8%で良いと思います。
伊藤会長	原田委員いかがでしょうか。
原田委員	私も真ん中をとて2. 8%で良いと思います。
猪島委員	私も2. 8%です。
伊藤会長	委員の皆様は、2. 8%が3人、3. 9%が2人、据え置きが1人という話になります。私の意見は、3. 9%と思っていました。
柳川委員	質問よろしいでしょうか。みよしの市制は、平成22年でしたか。
人事課長	そうです。
柳川委員	平成22年に市制を敷いて、平成23年から平成24年に下がっているんですよ。これはなぜ下がっているのでしょうか。
総務部次長	リーマンショックの関係だと思います。
柳川委員	町から市になる時に当然仕事も増えてきているのに職員の数はあまり増えていないです。これは一般職の話ですけども、それでなおかげで当時の社会情勢で下がったということですが、感情論でいけば物価高で皆が苦しんでいる時にというのはあるかもしれません、それからずつと上がっていなかったということについては、みよしは、行政努力で財政力も上がってきているので、そこは評価して上げるということで良いと思います。後は、2. 8%か3. 9%か、そこですね。
伊藤会長	それでは、三役の方を後に回させてください。 議員報酬については、どうお考えですか。
柳川委員	議員については去年上がっていますよね。
伊藤会長	上がっています。令和5年の審議会で上げる方針をして、それが反映されていますね。
柳川委員	3. 9%上げると一般の議員は順位的には上がる。
富樫職務代理	あまり順位は頭に入れなくても良いのではないかなと思いますがどうですか。
伊藤会長	両方の考え方があるとは思います。
柳川委員	議員の仕事も年4回の定例会や臨時会といった色々あるとは思いますが、財政力が上がって行政の仕事が増えてきているのは、議員もそれに伴って勉強してもらってということにはなると思うので、三役を上げるのであれば同じ位上げるのが良いのではないかなと思います。
伊藤会長	そうすると、2. 8%が妥当というところでしょうか。
柳川委員	はい。
伊藤会長	原田委員いかがでしょうか。

原田委員	今後、選挙があった場合に多くの候補者が出てくれば、その中で私たちは選択肢が増えるということですね。そうなるためには、何か立候補する魅力として、その一つとして報酬が入ってくるとは思うので、三役とは同等とは言えないですが、上げた方が良いのではないかと思います。例えば、三役は2. 8%と言いましたが、ずいぶん長い間上がっていないわけなので3. 9%、議員さんは2. 8%という考えです。
猪島委員	私も数字的に上げる方向であれば、三役は上がっていないので議員さんは三役よりも下でという考えです。議員さんは1. 1%で、三役は2. 8%です。
富樫職務代理	私は、三役が3. 9%で、議員さんは2. 8%が妥当かなと思います。
伊藤会長	山内委員は、いかがでしょうか。
山内委員	議員は、2. 8%です。
伊藤会長	わかりました。岩田委員は、いかがでしょうか。
岩田委員	議員も三役も3. 9%です。
伊藤会長	今までの御意見で申し上げると1. 1%が1人、2. 8%が4人、3. 9%が1人でよろしいでしょうか。私は、2. 8%で差をつけておくべきと思います。大勢としては、議員についても昨今の状況を鑑みて、今年度の上昇率をもって2. 8%をもって、この審議会の答申案としたいと思います。 それを踏まえて、市長、副市長、教育長の給料になりますが、先程伺った意見だと原田委員が少し差をつけるとおっしゃったので3. 9%でよろしいでしょうか。
原田委員	はい。
伊藤会長	そうしますと、3. 9%が4人、2. 8%が2人、据え置きが1人という形になるとと思います。方向性としては引上げということで、隔年なので2年分を足した3. 9%となります。その背景としては、長年上がっていない事も考慮した上で、議員の方と少し差がある形にするという方向で本審議会としては、結論を出したいと思いますけどもいかがでしょうか。 【異議なし】 分かりました。今回決定した内容を基に答申書を作成させていただきます。答申の文章の検討は、再度お集まりいただいて、審議していただくことは大変ということもありますので、答申書の案を事務方に作成していただいて、それを皆様にお送りさせていただきます。それを確認して頂いて御意見があれば、事務方に戻していただいて、それを基に改めて答申書をまとめさせていただきます。最終的にまとめた答申書につきましては、私の方に一任とさせていただきたいということですがいかがでしょうか。 【異議なし】 また、市長への答申についても、会長である私と富樫職務代理に一任頂ければと思いますが、いかがでしょうか。 【異議なし】 ありがとうございます。答申書については 市長に答申後に委員の皆様に事務局より最終版をお送りさせていただくようにしたいと思います。 事務局から他にありますか。
事務局	改定の実施時期につきましても、諮問されておりで、御意見をお伺いしたいと思います。
伊藤会長	改定の時期は、今までの例と同様に来年度の4月1日からでいかがでしょうか。 【異議なし】 時期についても、来年度の4月1日からということでお願いします。 それでは審議会をこれにて閉じたいと思います。委員の皆様、積極的な審議をありがとうございました。
典礼	議員の皆様には真剣な御審議ありがとうございました。これをもちまして、第2回特別職報酬審議会を終了します。